

株式会社JCNコアラ葛飾では、番組審議委員による平成23年度放送番組審議会を開催し、自主制作番組について多岐に亘り審議していただきました。この審議内容を踏まえ、地域の皆様に親しまれ信頼を得られるよう、よりよい番組づくり・番組の適正化に努めてまいります。

平成23年度番組審議会

●日時 平成24年2月29日（水）午前11時10分から午後1時45分

●場所 株式会社JCNコアラ葛飾 会議室

●出席者

<番組審議委員>

薄葉博司氏（委員長） 三矢慶三氏（副委員長）

長田宏氏 岸本次夫氏 松島英雄氏

<株式会社JCNコアラ葛飾側>

樋江井和徳（代表取締役社長）

泉三千男（取締役 メディア事業部長）

伊澤和紀（JCN千葉エリア制作・営業室長 兼メディア営業部マネージャー）

岡崎信行（JCN千葉エリア制作・営業室 制作マネージャー）

塩見英輝（JCNコアラ葛飾 メディア事業部放送課マネージャー）

黒澤修史 番組審議会事務局（JCNコアラ葛飾 メディア事業部企画課長）

荒川良子 番組審議会事務局（JCNコアラ葛飾 メディア事業部企画課）

●欠席者

石川章治氏 辺見眞由美氏

●審議内容

JCNコアラ葛飾の自主制作番組「デイリーニュース」、および、千葉エリア制作番組を審議していただき、各番組概ね好評価をいただきました。審議委員の意見は下記の通りです。

今年度の審議委員会では、平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震を受けて、CATV は地域住民に対し何が出来るのか、またどのような取り組みをすべきかといった意見が多数寄せられました。

「デイリーニュース」

- ・ 完成度が高く評価できる。
- ・ 取材が各方面、年代を考慮し、内容・ナレーション等、よく配慮された番組に仕上がっている。
- ・ 初回放送（18:00～）を逃しても別の時間帯で視聴できるのはありがたい。また、ダイジェスト（土日）放送も忙しい人にはうれしい対応である。
- ・ 多くの人々に愛されている印象がある。
- ・ 自治体との連携強化や時代の変化に対応できる、人的なあるいは情報のネットワークを深めて、より生活に密着し、安心・安全に暮らせる情報提供をしてほしい。

「千葉エリア制作番組」

- ・ ロッテテレビのように、近隣地域のプロサッカーチーム応援番組を放送してほしい。
- ・ デイリーニュースと同様にみなさんに愛される番組になってほしい。

「その他」

- ・ 「災害」は人間の手では防ぐことは出来ないが、「減災」は人の手で可能とする。大災害発生時は誰に助けられる訳でもなく、自分自身が生き延びるしかない。いざ発生する時のために、住民自身がどう備えるべきなのか、その対応行動について日頃から繰り返し放送し、啓蒙・涵養して行く事こそが、ケーブルテレビの役割ではないか。
- ・ 「災害」関連の取り組みは、町会によって温度差がある。積極的な活動をしている地域や団体を放送で紹介することで、どの地域の住民も万全な備えに繋がるよう協力してほしい。
- ・ 大災害発生時に無線端末と連携して在宅者以外もリアルタイムで情報提供できるような体制づくりを期待したい。